

研究課題名 2017-BC-1

「高齢者乳癌の化学療法における諸問題について —毒性予測ツールの検証を中心に—」に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年4月～2016年6月の期間に化学療法を受けた65歳以上の高齢者乳癌

2. 研究目的・方法

<研究の目的・意義> 近年の高齢者人口の増加に連動し高齢者乳癌も増加し続けている。高齢癌患者の多くは治療に積極的であるが、合併症および一人暮らしや認知症など高齢者特有の問題も軽視できず診療方針の選定に苦慮する例が多い。Performance status などの全身状態の評価のみでは臓器障害や activity of daily living(ADL)を低く見積もる危険性があり注意が必要である。近年、高齢癌患者の化学療法における重篤な毒性に関しリスクを予測するツールも登場したが、これまでの報告は毒性予測に留まるため、今回治療の完遂や ADL に大きく影響する精神疾患なども調査する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 診療番号、生年月日、年齢、性別、イニシャル、病歴、治療歴、有害事象等の発生状況、臨床検査値(血液・生理検査等)、生活歴(飲酒、喫煙等)等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

連絡先担当者: 三河乳がんクリニック 佐々木俊則

住所: 愛知県安城市篠目町肥田 39-6

電話: 0566-77-5211

研究代表者: 三河乳がんクリニック 佐々木俊則

研究責任者: 三河乳がんクリニック 佐々木俊則